

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社 昭和真空
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小俣 邦正
 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,645	1.3	△69	—	△56	—	△68	—
24年3月期第3四半期	4,586	△32.6	△74	—	△94	—	△1,333	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △73百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,364百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△11.11	—
24年3月期第3四半期	△216.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	9,655	5,350	55.4	868.76
24年3月期	9,629	5,454	56.6	885.68

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,350百万円 24年3月期 5,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,257	16.5	92	—	81	—	91	—	14.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,499,000 株	24年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	340,242 株	24年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,158,758 株	24年3月期3Q	6,158,764 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進主要国では、欧州金融不安の長期化などから景気回復が遅れ、新興国においても先進国経済の影響による輸出減少や設備投資、個人消費の低迷により成長が鈍化しました。また、わが国経済は、12月の政権交代による経済政策への期待感から、株価の回復や為替相場の円安傾向など変化の兆しは見られるようになりましたが、通期でみると世界経済や円高の影響から依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォンやタブレットPCなどの高性能携帯端末市場が、当社グループの主要な取引先である水晶、光学、電子など各デバイス業界を下支えしているものの、先行きの不透明感から設備投資に対する姿勢は依然として慎重であり、総じて弱含みで推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは、厳しい環境下でも成長している市場を捉え、中国、台湾を中心としたアジア地域への拡販に努めましたが厳しい状況が続きました。

生産面では、在庫部品の積極活用や効率的な生産を推進し原価低減に努めました。

損益面では、引き続き固定費削減を推進しましたが、受注の低迷や納期が第4四半期以降に先送りになった案件があったことなどにより、売上の絶対量が足りずに固定費をカバーすることができませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高43億70百万円（前年同四半期比9.5%減）、売上高46億45百万円（同1.3%増）となりました。

損益につきましては、経常損失56百万円（前年同四半期は94百万円の経常損失）、四半期純損失68百万円（前年同四半期は13億33百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、設備投資への動きが慎重であることを受け受注は厳しい状況となりました。受注高は36億14百万円（前年同四半期比9.3%減）、売上高は38億89百万円（同4.0%増）、セグメント利益は3億50百万円（同7.0%減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、主に最新装置の営業活動を積極的に推進してまいりましたが、設備投資に他にする動きは鈍く、受注・売上ともに厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は9億3百万円（前年同四半期比58.3%減）、売上高は15億9百万円（同7.5%増）となりました。

(光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア地域を中心に営業活動を推進してまいりました。

光学装置の受注高は18億89百万円（前年同四半期比200.3%増）、売上高は20億25百万円（同59.2%増）となりました。

(電子部品装置、その他装置)

電子部品業界では、最終製品の価格下落や長期化する円高の影響もあり、増産設備投資に対する動きは鈍く受注・売上ともに厳しい状況となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は8億21百万円(前年同四半期比30.7%減)、売上高は3億54百万円(同66.7%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、上海子会社を中心に引き続き修理、改造、パーツ販売に積極的に対応しました。さらに、株式会社エフ・イー・シーが製造・販売する歯のない歯車「マグトラン」も積極的な営業活動を展開しました。しかしながら、ユーザー企業における稼働状況低迷の影響から苦戦しました。

サービス事業の売上高は7億55百万円(前年同四半期比10.7%減)、セグメント利益は1億13百万円(同25.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は65億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が6億73百万円減少したものの、仕掛品が8億4百万円増加したことによるものです。固定資産は31億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により1億4百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は96億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億71百万円増加いたしました。これは主に1年以内返済予定長期借入金が3億31百万円減少したものの、短期借入金が4億円、前受金が1億25百万円増加したことによるものです。固定負債は、15億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が26百万円、長期リース債務が14百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は43億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は53億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当が30百万円と包括利益が73百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は55.4%(前連結会計年度末は56.6%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成24年11月8日付「平成25年3月期第2四半期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,819	1,112,800
受取手形及び売掛金	3,402,216	2,729,110
商品及び製品	8,291	9,957
仕掛品	1,256,262	2,060,394
原材料及び貯蔵品	299,842	379,388
繰延税金資産	109,428	109,532
その他	34,377	106,741
流動資産合計	6,374,237	6,507,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	839,681	796,711
機械装置及び運搬具（純額）	94,235	58,450
土地	2,162,527	2,162,527
その他（純額）	25,448	21,302
有形固定資産合計	3,121,892	3,038,991
無形固定資産		
その他	66,248	44,305
無形固定資産合計	66,248	44,305
投資その他の資産		
投資有価証券	60,548	57,800
その他	86,057	85,921
貸倒引当金	△79,731	△79,731
投資その他の資産合計	66,874	63,990
固定資産合計	3,255,015	3,147,287
資産合計	9,629,252	9,655,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,554	1,791,622
1年内返済予定の長期借入金	331,410	—
短期借入金	—	400,000
未払法人税等	15,182	12,019
賞与引当金	124,137	65,302
製品保証引当金	69,000	44,000
工事損失引当金	32,100	43,900
その他	241,100	360,348
流動負債合計	2,545,484	2,717,192
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付引当金	498,059	500,531
繰延税金負債	7,668	5,444
その他	123,345	81,563
固定負債合計	1,629,073	1,587,539
負債合計	4,174,557	4,304,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	849,817	750,548
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	5,502,805	5,403,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,866	8,097
為替換算調整勘定	△57,977	△61,153
その他の包括利益累計額合計	△48,111	△53,056
純資産合計	5,454,694	5,350,480
負債純資産合計	9,629,252	9,655,213

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,586,337	4,645,816
売上原価	3,650,069	3,754,514
売上総利益	936,267	891,301
販売費及び一般管理費	1,010,952	960,425
営業損失(△)	△74,684	△69,123
営業外収益		
受取利息	1,188	1,055
受取配当金	301	251
受取賃貸料	12,903	9,566
保険配当金	12,647	12,138
作業くず売却益	704	1,296
その他	3,333	4,420
営業外収益合計	31,079	28,729
営業外費用		
支払利息	20,874	8,068
売上債権売却損	9	—
社債発行費	17,086	—
その他	12,560	8,369
営業外費用合計	50,530	16,437
経常損失(△)	△94,135	△56,832
特別利益		
固定資産受贈益	7,082	—
特別利益合計	7,082	—
特別損失		
固定資産除却損	103	56
減損損失	1,027,777	—
特別損失合計	1,027,880	56
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,114,934	△56,888
法人税、住民税及び事業税	10,001	12,079
法人税等調整額	208,871	△542
法人税等合計	218,872	11,536
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,333,806	△68,425
四半期純損失(△)	△1,333,806	△68,425

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,333,806	△68,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,534	△1,768
為替換算調整勘定	△8,703	△3,176
その他の包括利益合計	△30,238	△4,945
四半期包括利益	△1,364,045	△73,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,364,045	△73,370

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,740,376	845,960	4,586,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94,303	17,682	111,985
計	3,834,680	863,643	4,698,323
セグメント利益	376,499	153,000	529,500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結連結損益計算書計上額との差額
及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	529,500
セグメント間取引消去	△11,620
のれんの償却額	△3,461
全社費用（注）	△589,103
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△74,684

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「真空技術応用装置事業」セグメントにおいて、土地、建物の用途変更に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は10億27百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,889,971	755,844	4,645,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175,860	192,944	368,804
計	4,065,832	948,789	5,014,621
セグメント利益	350,316	113,340	463,656

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	463,656
セグメント間取引消去	16,978
全社費用（注）	△549,759
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△69,123

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,509,247	107.5
光学装置	2,025,979	159.2
電子部品装置	300,220	30.0
その他装置	54,524	85.7
真空技術応用装置事業計	3,889,971	104.0
サービス事業		
部品販売	574,439	88.4
修理・その他	180,043	92.1
サービス事業計	754,483	89.3
合計	4,644,455	101.3

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (%)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	903,204	41.7	664,595	49.2
光学装置	1,889,990	300.3	1,477,768	213.7
電子部品装置	766,658	68.4	594,580	22.4
その他装置	54,524	85.7	—	—
真空技術応用装置事業計	3,614,377	90.7	2,736,944	58.3
サービス事業				
部品販売	575,800	88.5	—	—
修理・その他	180,043	92.1	—	—
サービス事業計	755,844	89.3	—	—
合計	4,370,222	90.5	2,736,944	58.3

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 外貨建受注残高の為替レート変動による増加額565千円は、当第3四半期連結累計期間末残高に加算しております。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,509,247	107.5
光学装置	2,025,979	159.2
電子部品装置	300,220	30.0
その他装置	54,524	85.7
真空技術応用装置事業計	3,889,971	104.0
サービス事業		
部品販売	575,800	88.5
修理・その他	180,043	92.1
サービス事業計	755,844	89.3
合計	4,645,816	101.3

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。